

熊本県天草市教育委員会にて SASTIK が導入されました。

株式会社サスライト（東京都千代田区 代表取締役 植松真司：以下サスライト）は、学校現場での情報漏洩事故のリスクを低減するセキュリティシステム「SASTIK III Thin-Client Layer（以下：SASTIK）」を熊本県天草市教育委員会に導入しました。

天草市は熊本県で熊本市・八代市に次いで3番目の人口を擁し、そのすばらしい自然やキリシタンの歴史、南蛮文化、豊かな農林水産資源などから、日本の“宝島”とも言われています。

その天草市教育委員会にて教員の情報漏えい対策として選ばれたのが SASTIK でした。SASTIK は専用の 0（ゼロ）MB キーを用いて、サーバへと認証、WEB サーバやファイルサーバへの安全アクセスを可能にするソリューションです。天草市ではこれまでの OMB キーに加え、ネットワーク環境の用意が難しい環境でもご活用頂ける USB メモリタイプ SASTIK を併用いただくことで、重要データを外部に持ちださない、自宅での安全な仕事環境を実現しました。



“キャプテン海道くん”

導入製品：SASTIK III Thin-Client Layer OMB キー版及びメモリーキー版

利用対象：天草市教職員 小中学校計 42 校



野生いるかが 300 頭！遭遇率 100%！？



美しい風景は心を洗われます



天草四郎でも有名な天草はキリシタン文化も数多く。世界遺産候補です

【認証鍵とメモリ鍵の併用で柔軟なセキュリティ強化を実現】

SASTIKOMB キーは、データは外部に一切持ち出さず、サーバにアクセスするための鍵＝メモリの無い USB キーのみを持ち出すシステムです。万一の紛失時も USB キー自体に情報が入っていない上に、パスワードロックやサーバ側での停止など強固なセキュリティを実現しています。今回の導入では、インターネットがない環境でも SASTIK をご活用いただけるよう、SASTIK のセキュリティ技術を応用した SASTIK メモリ版を併用する事で、暗号化 USB メモリだけに頼らない環境を実現する事が出来ました。今後、インターネットの普及に伴い、順次 SASTIKOMB キーでの運用に切り換えてご活用されたいとの事です。

【バージョンアップにも簡単対応】

これまでの学校向け暗号化 USB メモリでは、校内パソコンに事前設定を必要とするものが多くありました。多数のパソコンが存在し、管理が難しい学校現場の声にお応えし、SASTIK メモリ版は、SASTIK サーバと組み合わせる事で学校パソコンへの事前設定を一切不要にしました。アップデートが必要な際も自動で行う機能も備えています。

標準の SASTIK OMB キーはサスライト保有の自動技術※に加え、サーバソフトと連動して稼動するシステムですので、自動での暗号化通信機能、ユーザ管理機能等もすべてサーバ側で実施。もちろんバージョンアップの際にも一々キーを回収する必要もなく、一元的な管理・設定で対応可能なソリューションとなっております。

※「着脱式デバイス及びプログラムの起動方法」（日本特許第 3767818 号：2006.2.10 登録）（米国特許 US7,606,946 B2：2009.10.20 登録）、（中国特許 ZL200380102207.X：2009.07.15 登録）



■プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社サスライト(<http://www.saslite.com>) 社長室 上田

Tel : 03-5275-0123 e メール: pr-sas@saslite.com